

景気景況調査報告

(第20回)

令和2年	10～12月期	実績
令和3年	1～3月期	見通し

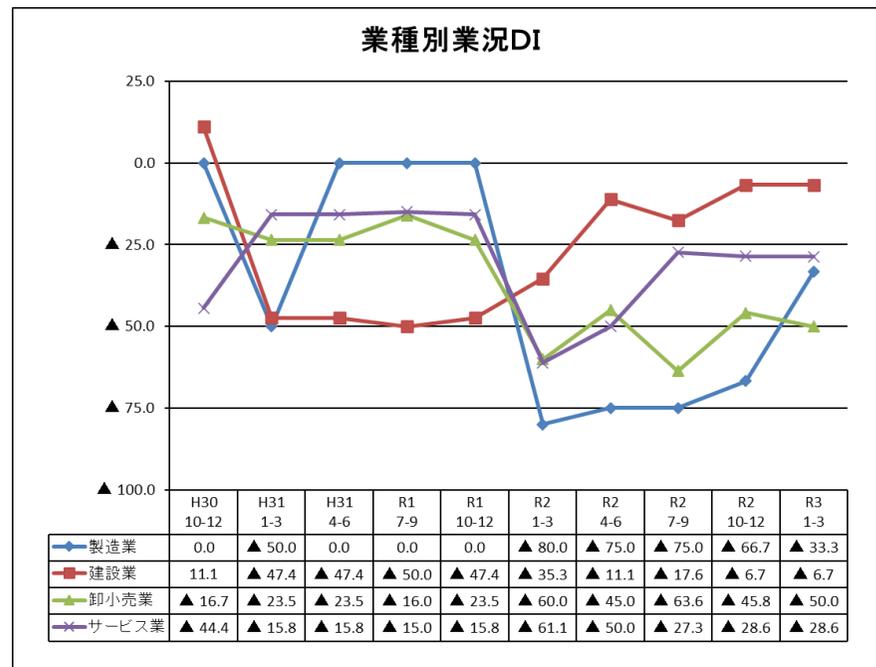
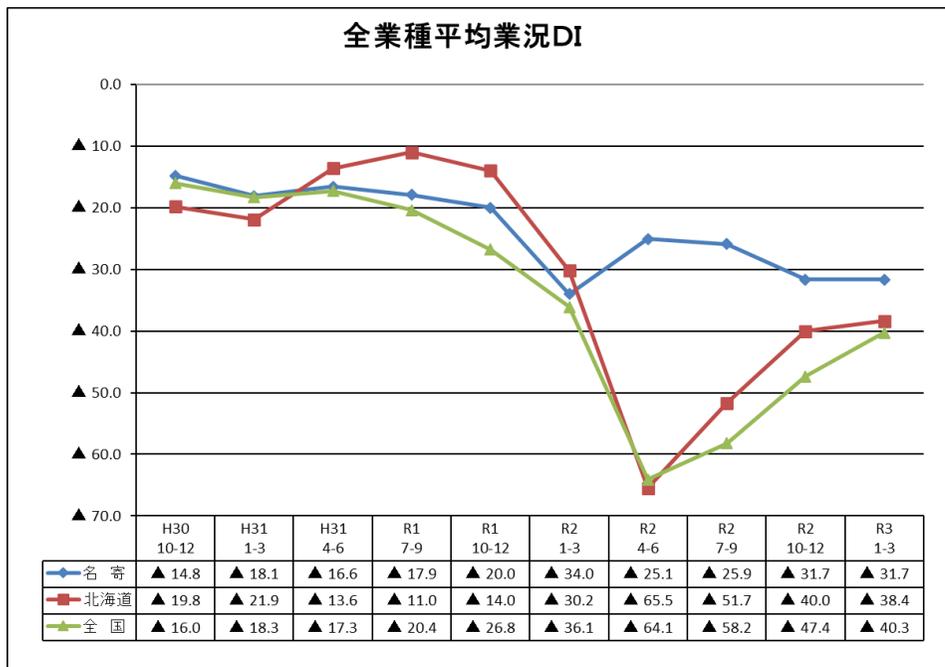
令和3年2月

名寄商工会議所

I 調査要領

- ①調査対象期間 令和2年10～12月期の実績及び令和3年1～3月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（FAXで協力願い） 127社

II 調査結果

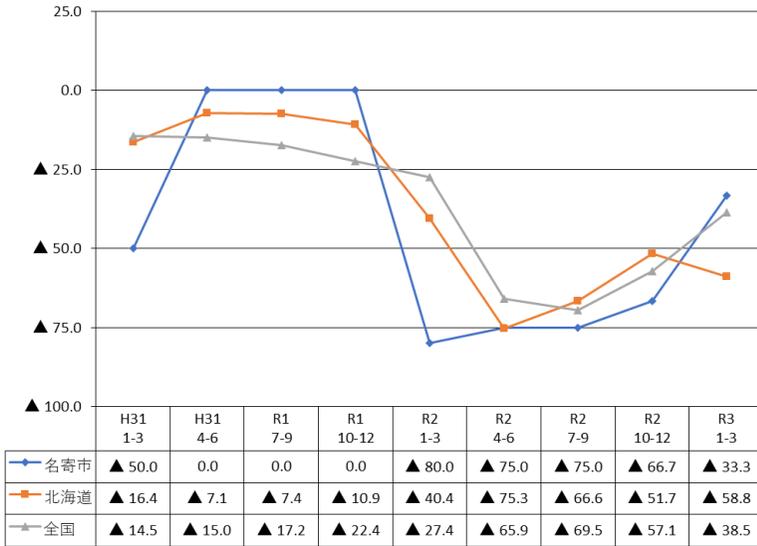


※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

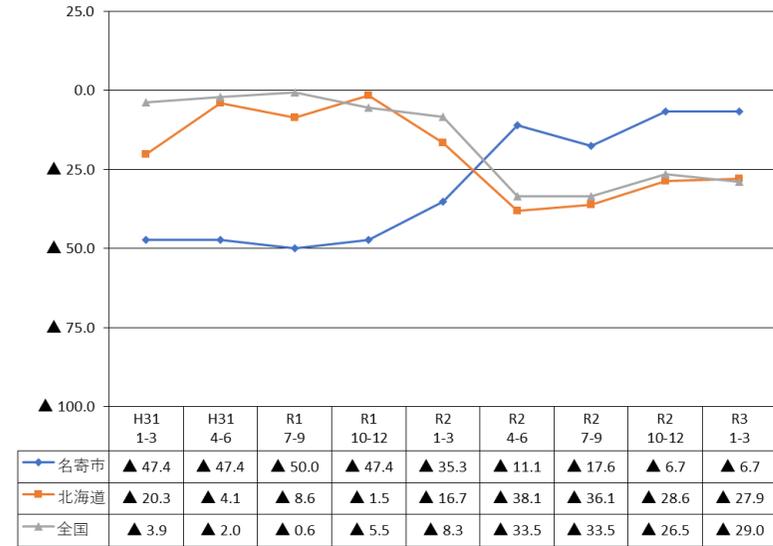
- ・今期、全業種平均で▲31.7ポイントと前回調査と比べ5.8ポイント悪化となっている。
- ・北海道（道商連調査）の景気と比較すると、今期8.3ポイント良いが、見通しでは1.6ポイントマイナス幅が縮小する見込みとなっている。
- ・全国（日商調査）の景気と比較しても、今期15.7ポイント良いが、見通しでは7.1ポイントマイナス幅が縮小する見込みとなっている。
- ・見通しは今期と変更はない。要因として新型コロナウイルスの影響もあり、反対に、建設業の受注工事増加による回復見込みの回答が多数ある。
- ・業種別の見通しでは、製造業で前期より大きく好転となっているが、卸小売業は4.2ポイント悪化となっている。
2度目の緊急事態宣言が発出されたことで、見通しによる減少幅が増加したと見られる。

業種別業況DI

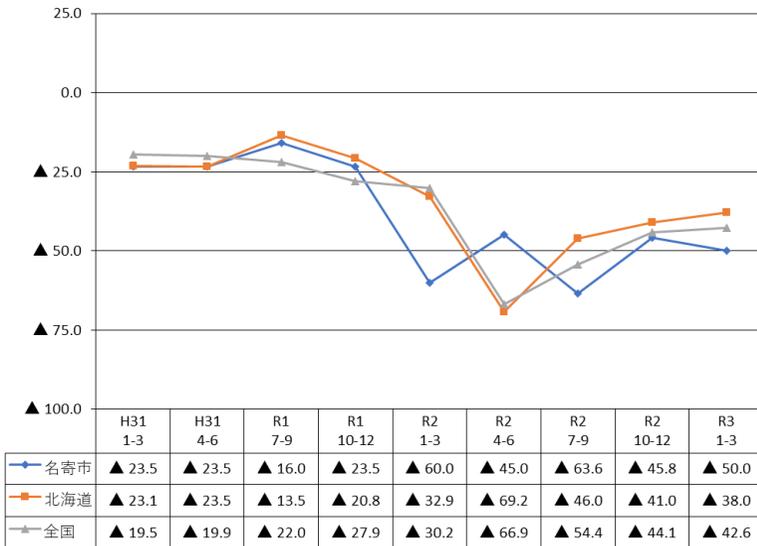
製造業 業況DI



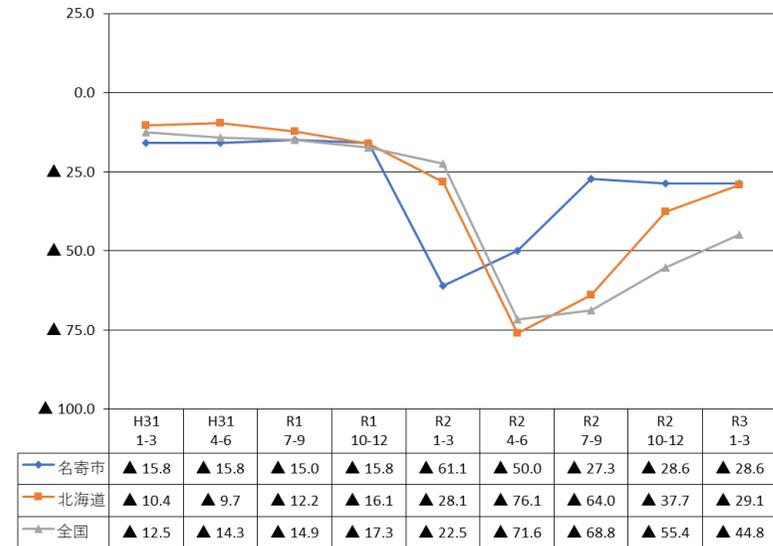
建設業 業況DI



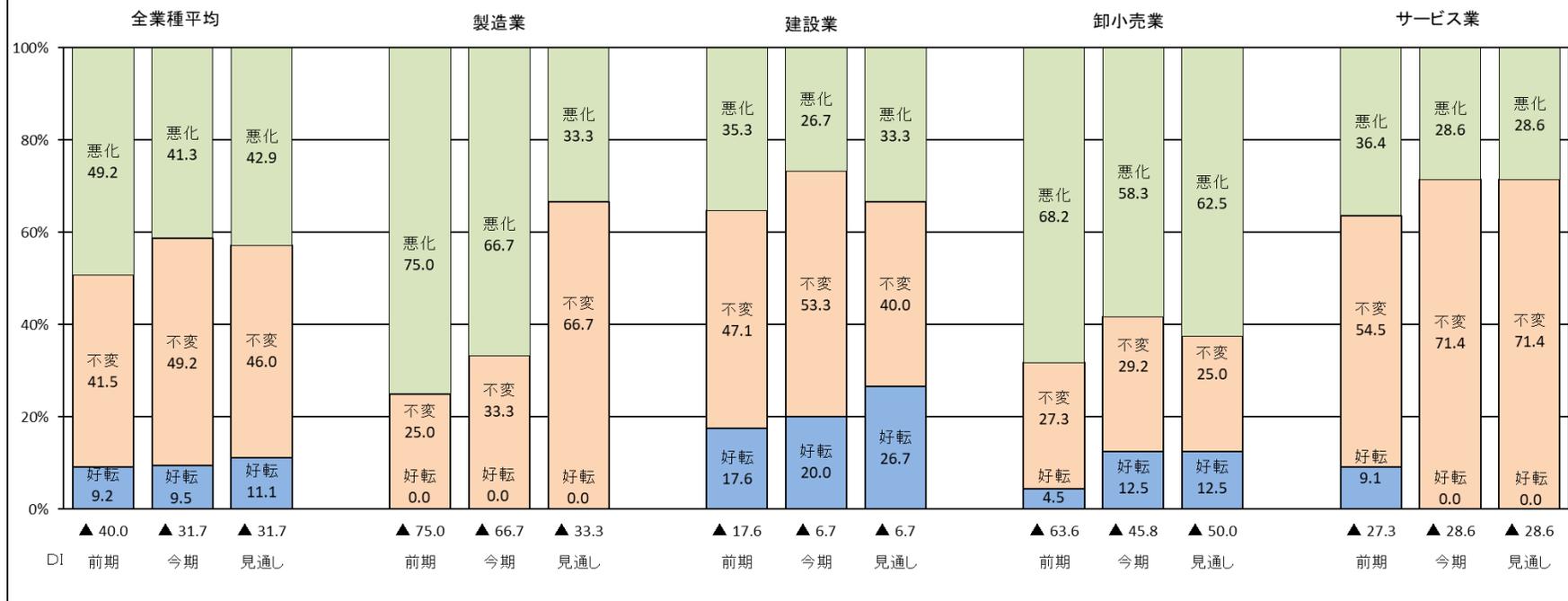
卸小売業 業況DI



サービス業 業況DI



業種別業況回答割合

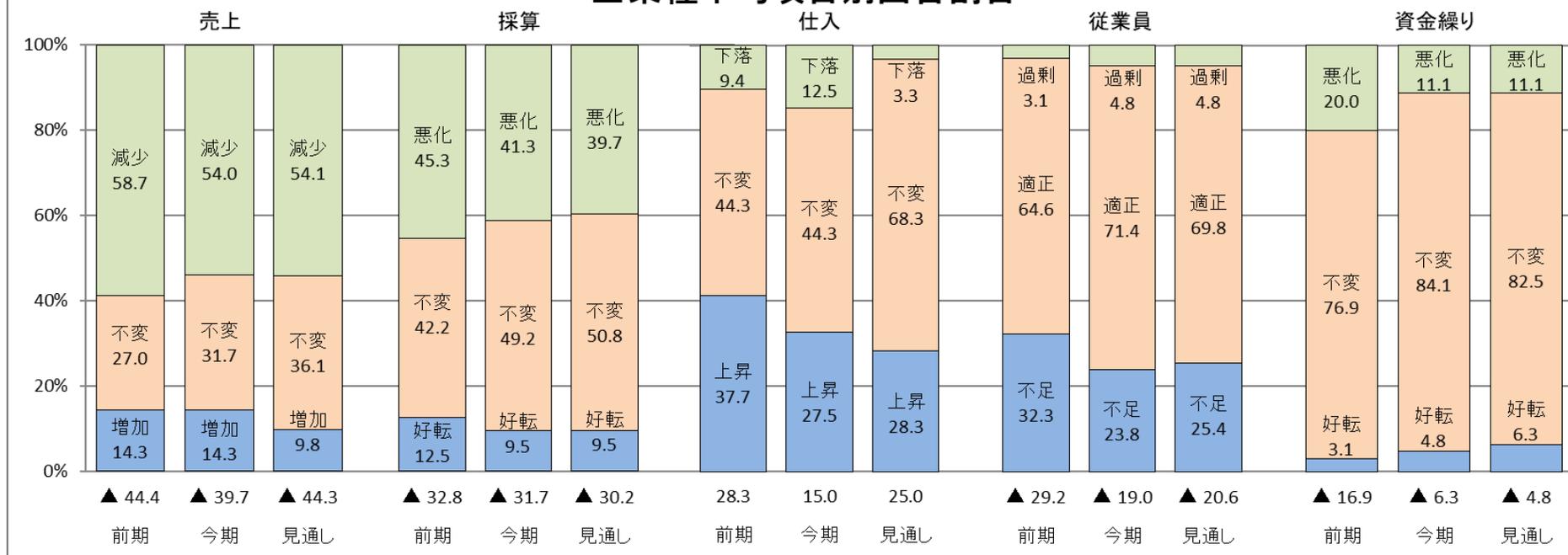


※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- 製造業～** 今期は前期に比べ、「悪化」が8.3%減少しており、「好転」の回答はない。
見通しでは「悪化」が33.4%減少しており、コロナにより物価が下がった影響と考えられる。
- 建設業～** 今期は前期に比べ、「悪化」が8.6%減少しており、「好転」が2.4%増加している。
見通しでは「悪化」「好転」共に増加しており、市の補助メニューや冬季間の工事減少の影響と考えられる。
- 卸小売業～** 今期は前期に比べ、「悪化」が9.9%減少しており、「好転」が8.0%増加している。
見通しでは「悪化」が多少増加したが、好転は横ばいとなっており、巣ごもり需要の増加や、各種イベントの中止等があり、厳しい状態が続いている。
- サービス業～** 今期は前期に比べ、「悪化」が7.8%減少しており、「好転」が9.1%減少している。
見通しでは「悪化」「好転」共に横ばいとなっており、見通しが見つからない状態となっている。

全業種平均では、今期は前期より「悪化」が7.9%減少し、「好転」はほぼ横ばいとなっている。見通しでは「悪化」「好転」共に多少増加しているが、全体DIを見ると、横ばいとなっている。今後も新型コロナウイルスの影響が続くと考えられる。

全業種平均項目別回答割合



売上 DI

今期▲39.7ポイントと前期より4.7ポイント増加となっている。見通しでは4.6ポイント減少となっている。

[減少の要因]

・新型コロナウイルスの影響 ・イベントや行事の中止 ・工事減少

[増加の要因]

・名寄市補助金支援 ・補助金による工事の増加 ・新規顧客契約

採算 DI

今期▲31.7ポイントと前期より1.1ポイント増加となっている。見通しではさらに1.5ポイント増加となっている。

[増加の要因]

・名寄市補助金支援 ・受注増 ・売上高増加

仕入 DI

今期15.0ポイントと前期より13.3ポイント減少。見通しでは10.0ポイント増加となっている。

[減少の要因]

・送料値上げ ・消費税増税 ・価格改定 ・原油価格減少

従業員 DI

今期▲19.0ポイントと前期より10.2ポイント増加となっている。見通しでは1.6ポイント減少となっている。

[不足の要因]

・高齢化 ・社員の転職 ・業務拡大による ・求人難

資金繰り DI

今期▲6.3ポイントと前期より10.6ポイント増加となっている。見通しではさらに1.5ポイント増加となっている。